

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和3年3月30日
九州地方整備局
佐伯河川国道事務所

『番匠川水系流域治水プロジェクト』を公表します！
～佐伯市民に愛される豊かな自然環境の保全と
豪雨災害や東南海・南海地震対策を推進～

「流域治水」に関する地域での取組を推進するため、河川整備に加え、流域のあらゆる関係者が協働して行う対策も含めた治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」としてとりまとめたものを公表します。

<概要>

近年、全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しており、流域全体を俯瞰し、国、流域自治体、企業等のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を推進していくことが必要です。

このため、あらゆる関係機関が参画する流域治水協議会を立ち上げ、関係機関が協働して流域治水プロジェクトの策定に向けて協議を進めて参りました。

本日、番匠川水系において、流域治水プロジェクトを公表します。

本水系における流域治水協議会に関する情報は、以下のページに掲載しております。

【番匠川水系流域治水協議会】

<http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/2020ryuukitisui/ryuukitisui.html>

【問い合わせ先】国土交通省 九州地方整備局 佐伯河川国道事務所

電話：0972-22-1880（代表）

FAX：0972-23-7481

副 所 長 東田 慎一（内線204）

調 査 課 長 藤原 吉洋（内線351）

番匠川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～佐伯市民に愛される豊かな自然環境の保全と豪雨災害や東南海・南海地震対策を推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大分県南の主要都市である市街化された佐伯市を貫流することで、浸水被害発生時に多大な影響があるという流域の特性を踏まえ、堤防整備、河道掘削、下水道整備等の事前防災対策を進めることで国管理区間においては、現行河川整備計画の目標の平成17年9月洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の平成29年9月洪水でも堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・堤防耐震、河道掘削、堤防整備、堰改築、橋梁改築 等
 - ・下水道等の排水施設の整備
 - ・利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：大分県、佐伯市、土地改良区など）
 - ・砂防対策（砂防施設整備、急傾斜地対策、）
 - ・森林整備・治山対策（治山施設整備・森林整備）
 - ・水田の貯留機能向上
 - ・ため池の補強・有効活用
 - ・内水被害対策



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・水位計・防災カメラの設置
 - ・各種防災情報ツールの作成・普及（マイ・タイムライン、避難経路危険箇所マップ、ため池 ハザードマップ、大分県版マイタイムラインの活用促進）
 - ・防災啓発活動（水防災啓発活動の強化、防災訓練（風水害）、VRでの防災意識啓発、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成）
 - ・情報発信、発信する情報の改善・強化（防災アプリ、メールによる情報発信、防災カメラの発信強化、防災気象情報の改善・充実、中小河川における氾濫推定図・ハザードマップの作成）
 - ・防災教育・意見交換会の実施・講師派遣（自治体向け防災対応ワークショップの実施、防災士養成研修への講師派遣、マスコミとの意見交換会の実施、住民主体の避難訓練への支援）等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



凡例

- 浸水範囲（戦後最大のH29.9洪水実績）
- ◀ ▶ 大臣管理区間

凡例

- 計画対象区間
- ◀ ▶ 大臣管理区間
- 流域界
- - - 市町村界
- 既設ダム
- 基準地点



平成29年9月洪水
床上浸水392戸、床下浸水588戸
※大分県管理区間含む

番匠川の番匠橋地点

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・排水ポンプ車による排水計画の策定
 - ・計画の策定・改定（佐伯市都市計画マスタープランの改定、佐伯市立地適正化計画の策定）
 - ・都市計画道路の見直し
 - ・重要施設の移転
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

番匠川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～佐伯市民に愛される豊かな自然環境の保全と豪雨災害や東南海・南海地震対策を推進～

- 番匠川では上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国県市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 大分県南の主要都市である佐伯市の洪水被害軽減として、流下能力が不足する番匠川、支川井崎川、久留須川においては河道掘削、堤防の耐震対策を実施する。県管理区間においても井崎川、提内川の河道掘削を実施し、佐伯市においては、内水対策として下水道整備も併せて実施する。併せて、水位計・防災カメラの設置等の整備を進めていく。
 - 【中期】 本川及び支川の中流部の浸水被害対策として、番匠川では堤防整備、河道掘削を実施する。また、県管理区間では井崎川、久留須川、提内川の築堤、河道掘削を継続するとともに、新たに橋梁架替や堰改築を実施する。併せて、タイムラインの策定や防災情報の発信等も引き続き地域住民と一体となって実施する。
 - 【中長期】 本川及び支川の上流部の浸水被害対策として、番匠川では河道掘削を継続するとともに新たに橋梁架替に着手する。県管理区間においては引き続き、井崎川、久留須川の築堤、河道掘削、橋梁架替や堰改築を継続して実施することで、流域全体での治水安全度の向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策	堤防耐震、河道掘削、堤防整備、堰改築、橋梁改築	佐伯河川国道事務所	[進捗バー]		
		大分県	R元～R25(井崎川)、R元～R30(久留須川)		
		大分県	H30～R9		
	下水道等の排水施設の整備	佐伯市	雨水幹線整備等		
	利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	大分県、佐伯市、木立土地改良区	(床木ダム、小中尾ダム、大中尾ダム、黒沢ダム、直川ダム)		
	砂防対策	大分県	流域内の溪流における土砂流出や流木を抑制する砂防設備及び地すべり防止施設の整備		
森林整備・治山対策	大分森林管理署 大分県森林整備センター	[進捗バー]			
被害対象を減少させるための対策	排水ポンプ車による排水計画の策定	佐伯河川国道事務所	[進捗バー]		
	重要施設の移転	佐伯市	振興局庁舎の移転・新設		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	情報発信、発信する情報の改善・強化	大分県	おおいた防災アプリ、県民安全・安心メールによる防災情報の配信(メール:H20～ アプリ:H31～)		
		大分県、佐伯市	中小河川における氾濫推定図、ハザードマップの作成		
		佐伯市	防災カメラの発信強化		
		大分地方気象台	毎年継続して行う取り組み		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

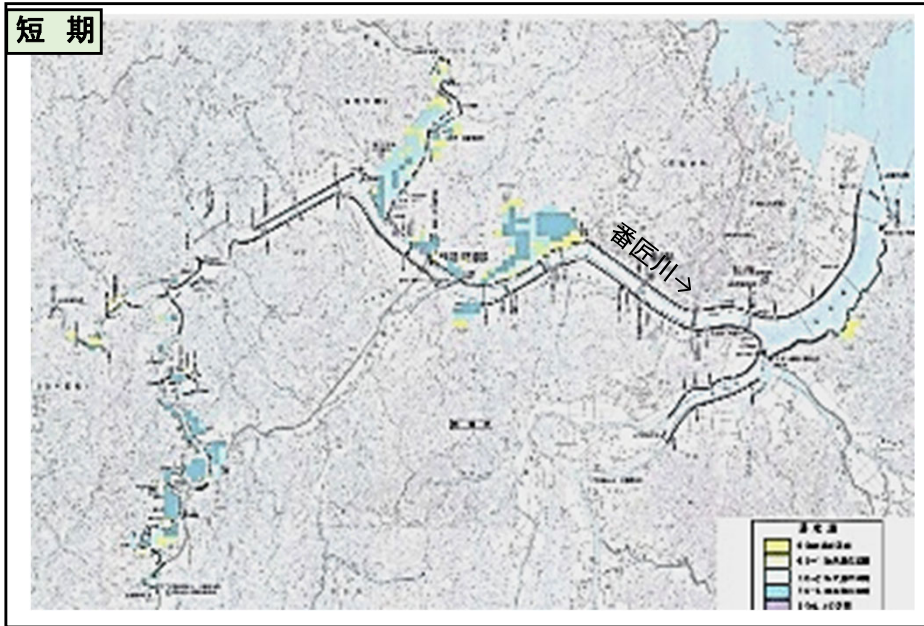
■ 河川対策 (約182億円)
 ■ 砂防対策 (約 46億円)
 ■ 下水道対策 (約 4億円)

※対策メニューは代表的な事例を記載。
 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

番匠川水系流域治水プロジェクト【効果】

～佐伯市民に愛される豊かな自然環境の保全と豪雨災害や東南海・南海地震対策を推進～

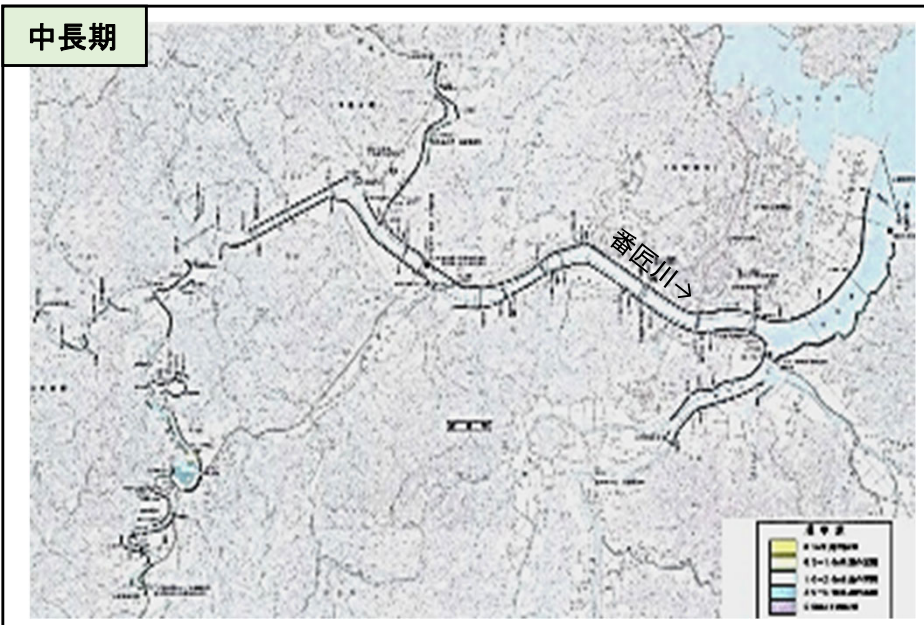
短期



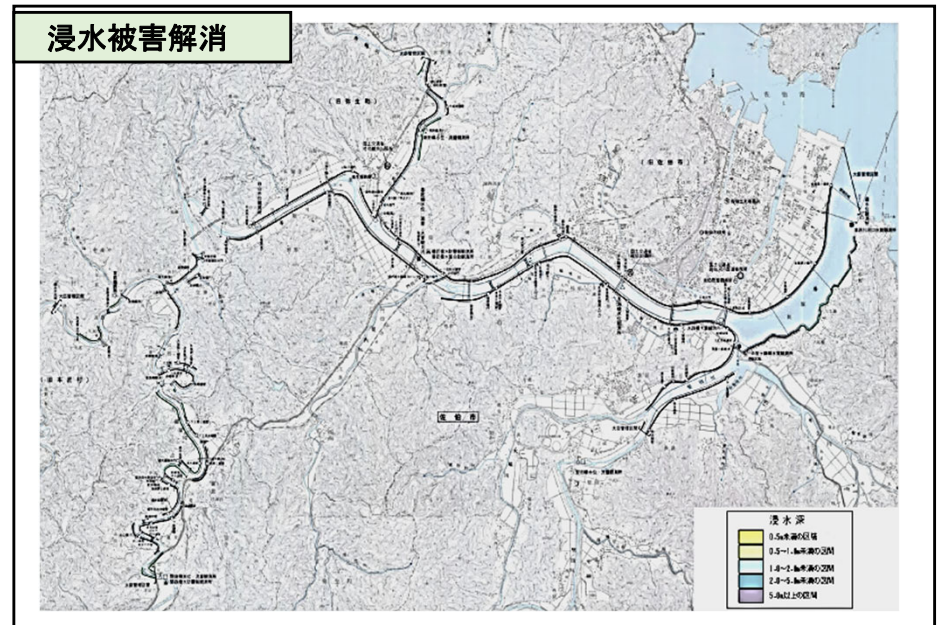
中期



中長期



浸水被害解消



※直轄管理区間において、昭和57年洪水と同規模の洪水が発生した場合に、氾濫ブロックで被害最大となる1箇所を破堤させた場合の氾濫想定範囲